

整理 No.	35	分類	コンクリートがれき	
会 社 名	丸栄コンクリート工業（株）・仙台支店			
担 当 者	営業課・三輪啓司			
連 絡 先	TEL	022-716-7781	FAX	022-265-8113
	E-mail	sendai@maruei-con.co.jp		
技術の名称	プレキャストコンクリート基礎工「ベースブロック」			
概 要 (150 字程度)	従来、河川・海岸等に用いられている護岸基礎工は、現地での型枠組立・コンクリート打設・型枠撤去といった工程で構築していました。しかし、降雨による河川の増水等による、水替設備の増設や作業員の増員等、工程の長期化に繋がる要因となっていた。こうした問題点を解決することを実現したもので、護岸基礎工の構築が図れる製品です。			
技術登録等	CB-990024-V			
技術の概要	1. 特徴 ・型枠を不要としたことにより省資源化が図れます。 中詰め材として現地発生コンクリート殻を使用することにより省資源化が図れます。 ・現地での型枠組立、撤去が不要となる。製品を布設した後、直ぐにコンクリート打設が可能です。 ・製品の長尺化（2.5m、5.0m）を実現し機械化施工により施工性の向上が図れます。 ・製品化により品質の安定化が図れ、施工精度及び出来高の向上が図れます。 ・平成 21 年度 準推奨技術（新技術活用システム検討会議[国土交通省]）に選定されました。 ・海岸堤防タイプにおいては津波越流時の洗堀対策にも効果的であり、粘り強い構造を早急に構築することが可能です。 ■断面図 ●通常区間 ●矢板区間			
次頁 あり・なし				

次頁
あり・なし

技術の概要
(つづき)

2. 適用条件・範囲

・特に効果の高い適用範囲

工期短縮、省力化、リサイクル（中詰め材：現地発生コンクリート塊）を行う場合。



中詰め材投入
(コンクリート破)



モルタル投入

- ・製品搬入路及び据付重機の設置ヤードの確保が必要。製品のストックヤードが必要です。
- ・法覆工のすべての基礎工に適用可能で、適用場所・適用条件に応じて、製品規格を選択出来る。
- ・適用できない範囲
軟弱地盤等による大幅な沈下が予想される場所（鋼矢板等による対策を行う場合を除く）

3. 施工事例



施工事例



据付状況



施工前



仮置き状況



設置完了



中詰め打設完了

- ・詳細については、当社担当者までカタログをご請求ください。